

新島の火山活動解説資料（平成 27 年 12 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2）

式根遠望カメラ（丹後山の西南西約 4 km）による観測では、丹後山山頂部に噴気は認められません。

・ 地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

28 日 09 時 49 分に新島付近を震源とするマグニチュード（M）2.1¹⁾の地震が発生し、新島村で最大震度 1 を観測しました。その前後に新島付近を震源とする地震を 4 回観測しましたが、その他の期間は静穏に経過しました。

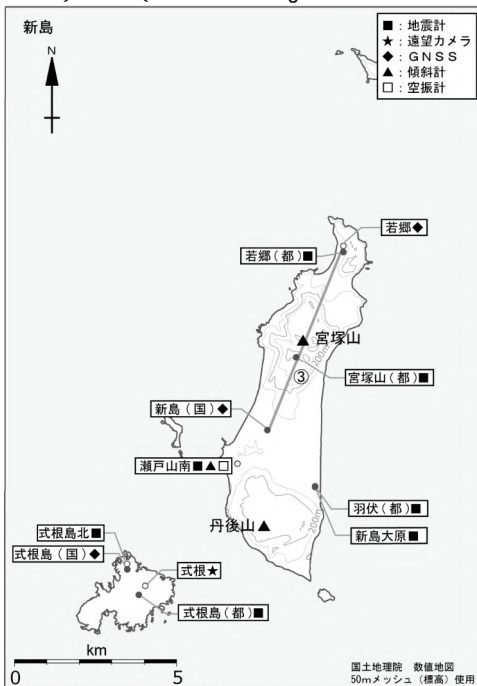
火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）

GNSS²⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) マグニチュード（M）は地震の規模をあらわします。この値は暫定値で、後日変更することがあります。

2) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（都）：東京都

図 1 新島 観測点配置図

GNSS 基線は図 3 の に対応しています。



図 2 新島 丹後山山頂部の状況
（12 月 19 日、式根遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 1 月分）は平成 28 年 2 月 8 日に発表する予定です。
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】

A 型地震	
2010 年 10 月 1 日（観測開始）～	瀬戸山南から半径 8 km、深さ 20km 以内
BH 型地震	
初期 2010 年 8 月 2 日～2013 年 9 月 30 日	瀬戸山南振幅 0.8 $\mu\text{m/s}$ 以上
変更 2013 年 10 月 1 日～	瀬戸山南振幅 4.0 $\mu\text{m/s}$ 以上

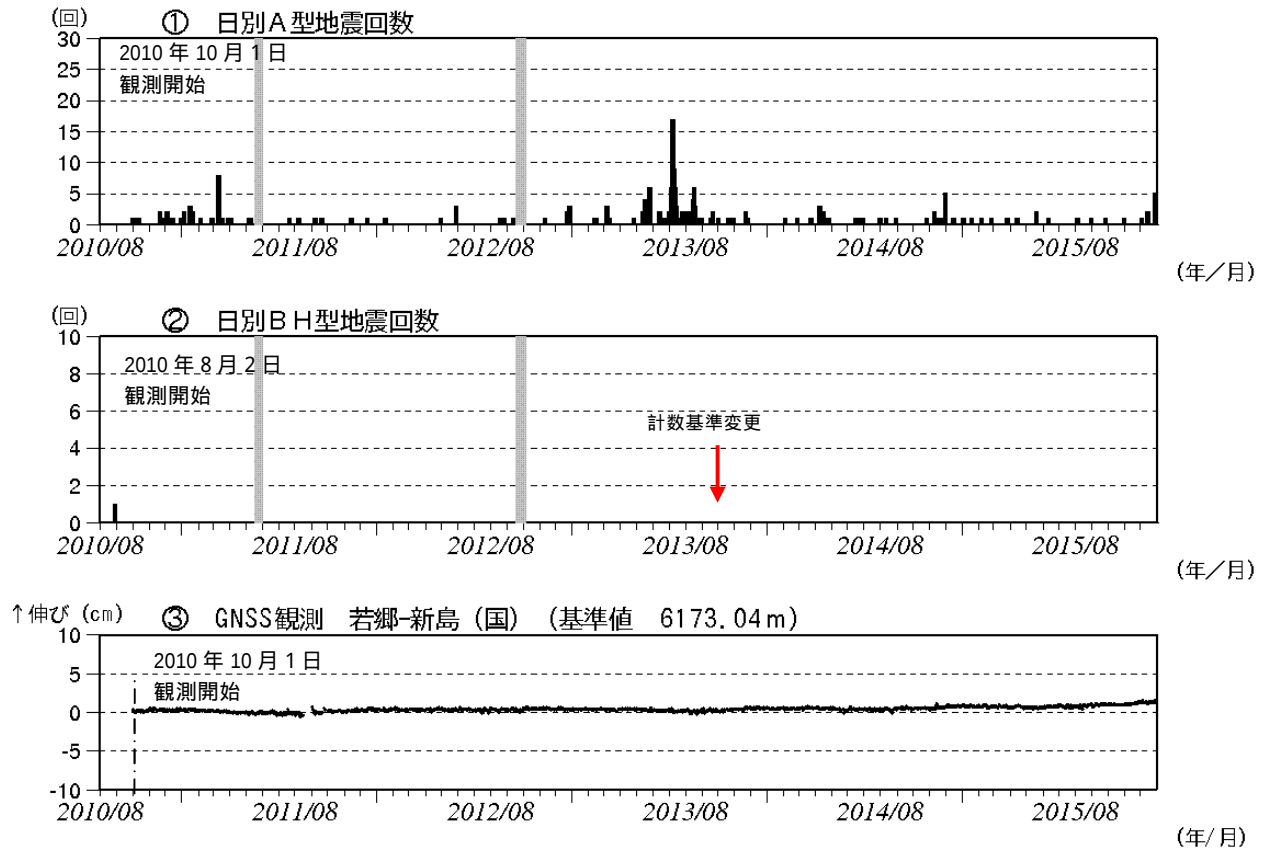


図 3 新島 火山活動経過図(2010 年 8 月 2 日～2015 年 12 月 31 日)

新島周辺の日別地震回数

- ・ 図の灰色部分は機器障害のため欠測を示します。

GNSS 連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

- ・ は図 1 の GNSS 基線 に対応しています。

- ・ グラフの空白部分は欠測期間を示します。

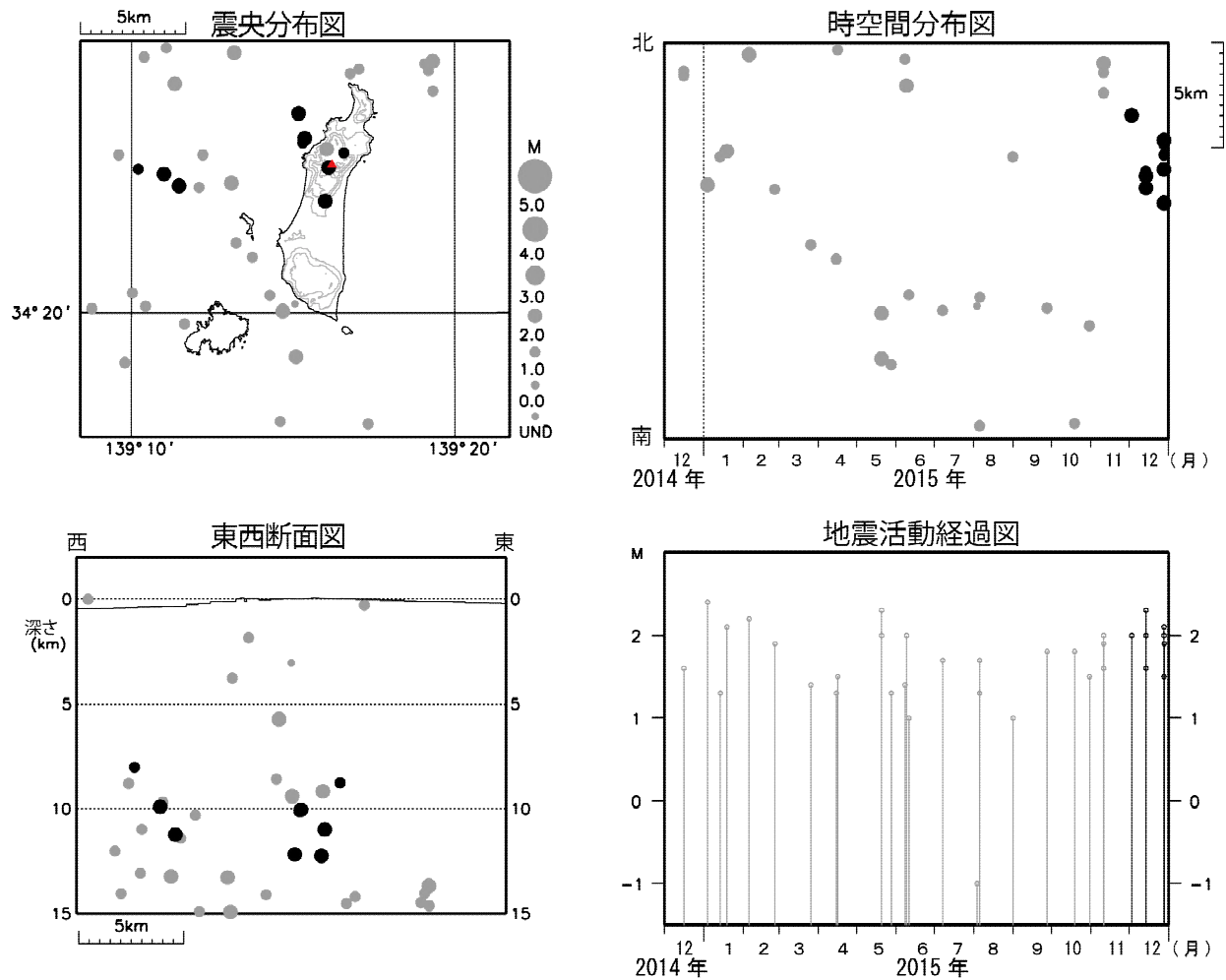


図 4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2014 年 12 月 1 日～2015 年 12 月 31 日）

●：2014 年 12 月 1 日～2015 年 11 月 30 日 ●：2015 年 12 月 1 日～2015 年 12 月 31 日

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

計数対象（瀬戸山南から半径 8 km、深さ 20km 以内）以外の地震が含まれるため、図 3 - の日別 A 型地震回数とは異なります。